

<b>Course number</b>	U-LAS22 20001 SO48				
<b>Course title (and course title in English)</b>	フランス語II A F2107 Intermediate French A		<b>Instructor's name, job title, and department of affiliation</b>	Part-time Lecturer,INOUE TAKUYA	
<b>Group</b>	Languages		<b>Field(Classification)</b>		
<b>Language of instruction</b>	Japanese and French		<b>Old group</b>	Group C	<b>Number of credits</b> 2
<b>Number of weekly time blocks</b>	1	<b>Class style</b>	Seminar (Foreign language) (Face-to-face course)		<b>Year/semesters</b> 2026・First semester
<b>Days and periods</b>	Wed.5		<b>Target year</b>	2nd year students or above	<b>Eligible students</b> For all majors

### [Overview and purpose of the course]

<フランス文化・社会の現在>

時事フランス語の教材や人文・社会科学分野のテキストを用いて、これまでに培ったフランス語の技能を向上させ、より発展的な読解力・表現力を養う。テキストの内容を理解するだけでなく、文型や語彙を内在化・自動化させるための口頭練習（音読やシャドーイング、パターンプラクティス）にも十分な時間を割いて取り組む。

各課の内容への導入として文化史、社会史的な視点から解説を行うほか、関連動画を視聴することもある。フランス語の運用能力を全般的に高めるとともに、フランス語の「先」にある世界を知ること、授業の目的である。

### [Course objectives]

- 1) 辞書を用いて、ある程度長い文を読みこなすことができるようになる。
- 2) 生きたフランス語のテキストに触れながら、基本的な文法や語彙の知識を固め、みずから運用できるようになる。
- 3) 自然なイントネーションやリズム、発音で文章を朗読することができる。
- 4) フランス文化・社会のアクチュアルな問題について理解を深める。

### [Course schedule and contents]

第11週までは時事フランス語の読本（『12テーマでわかるフランス事情[三訂版]』）を教科書として用いる。

以降の週では、受講者の関心に応じてテーマ別のテキストを抜粋で読む。取り上げる候補としては、たとえばSeuil社の『...に語る』シリーズ(ジャック・ル・ゴフ『こどもたちに語る中世』、ターハル・ベンジュルーン『娘に語るラシズム』、ミシェル・ヴィヴィオルカ『若者に語る反ユダヤ主義』、ミリアム・ルヴォー・ダロンヌ『こどもたちに語る政治』、ジュヌヴィエーヴ・ドレジ・ド・パルスヴァル『孫たちに語る家族』、レジス・ドゥブレ『娘に語る共和国』など)が考えられる。

毎週のはじめに、指定した予習箇所の内容理解を問う小テストを実施する。小テストには、すでに扱った箇所のディクテ（口述された文の書き取り）を含める。

授業ではテキストの解説をするほか、重点的に取り上げる文法項目を定め、練習をおこなう。音読やパターンプラクティスなどの口頭練習は、練習量を確保するため毎回ペアで活動する時間を設ける。

前期は以下の通りに進める（進度、受講者の関心などに応じて変更の可能性あり）。

- (1) オリエンテーション、文型についての復習
- (2) 1課「制服への回帰？」

Continue to フランス語II A F2107(2)

## フランス語II A F2107(2)

- (3) 1課「制服への回帰？」
- (4) 2課「バカロレア改革と大学入試改革」
- (5) 2課「バカロレア改革と大学入試改革」
- (6) 3課「仕事と情熱：城の修復」
- (7) 3課「仕事と情熱：城の修復」
- (8) 5課「移民とフランスの文化」
- (9) 5課「移民とフランスの文化」
- (10) 6課「フランスのMangaブーム」
- (11) 6課「フランスのMangaブーム」
- (12) 受講者と合意のうえ選択したテキスト
- (13) 受講者と合意のうえ選択したテキスト
- (14) 学期全体のまとめ、復習
- (15) フィードバック

### [Course requirements]

Refer to "Handbook of Liberal Arts and General Education Courses".

### [Evaluation methods and policy]

小テスト・ディクテ40%、その他の平常点（授業内での成果物、取り組みの姿勢など）20%、期末試験40%

小テストを含め教室での活動の成果が大きな評価対象となる。配慮すべき理由のない欠席が5回以上あった場合、単位認定の対象としない。また、遅刻は小テストを受ける機会を逃すことになるので、注意すること。

### [Textbooks]

岡見さえ、ミカエル・デプレ 『12テーマでわかるフランス事情[三訂版]』（白水社, 2024）ISBN: 9784560061558

### [References, etc.]

（References, etc.）

授業中、テキストを読みながら辞書指導をおこなう。初学者向けのもので構わないので、毎回辞書を持参すること。

### [Study outside of class (preparation and review)]

予習：テキストの指定された箇所について、語彙・表現を調べ、内容を理解しておく（小テストの準備）

復習：教科書付属の音声資料を使って音読・シャドーイングを行い、ディクテの準備をする

### [Other information (office hours, etc.)]

### [Essential courses]